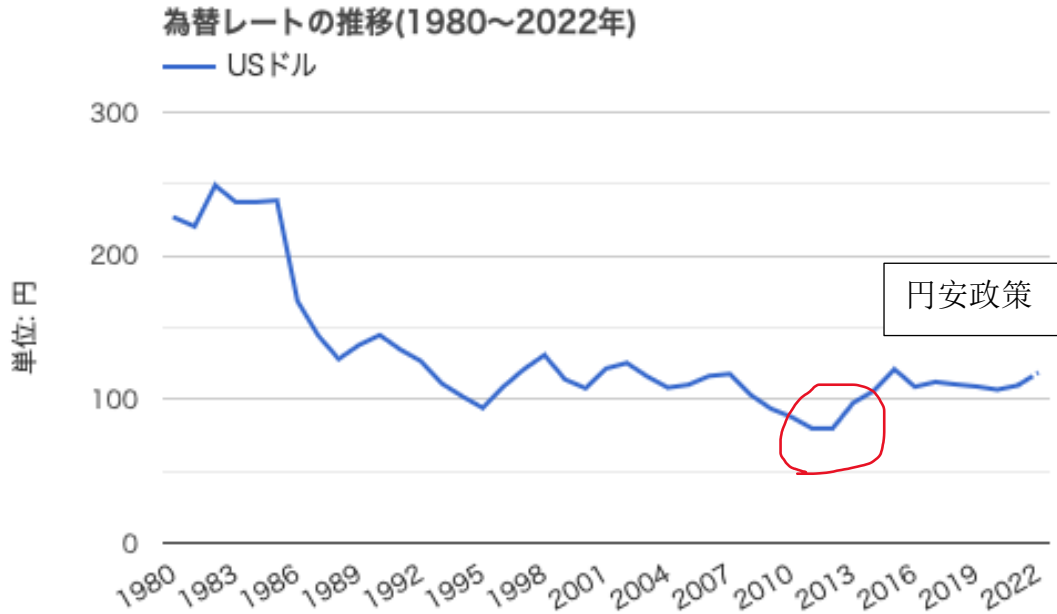


# 円安



<出典> [https://ecodb.net/exec/trans\\_exchange.php?type=EXCHANGE&b=JPY&c1=USD&ym=Y&s=&e=](https://ecodb.net/exec/trans_exchange.php?type=EXCHANGE&b=JPY&c1=USD&ym=Y&s=&e=)

## 外為10時 円、下げ幅拡大 130円台半ば 中値「ドル不足」の声

為替概況

2022年5月6日 10:24



6日午前の東京外国為替市場で、円相場は下落幅を拡大している。10時時点は1ドル=130円46~47銭と東京市場の前営業日にあたる2日17時時点と比べて36銭の円安・ドル高だった。

[https://www.nikkei.com/article/DGXZASS0IMF03\\_W2A500C2000000](https://www.nikkei.com/article/DGXZASS0IMF03_W2A500C2000000)

## 為替の仕組み

固定相場制： 1ドル=360円 → 1ドル=308円  
変動相場制（1973.2）

対ドル	円高	円安
原因	円買い	ドル買い
輸入企業への影響		
輸出企業への影響	利益↓	利益↑

**NHK**

## 食品や燃料 輸入企業への影響

**円高**

輸入価格 ↓

||

食品など販売価格 ↓ も



**円安**

輸入価格 ↑

||

電気料金など ↑ も



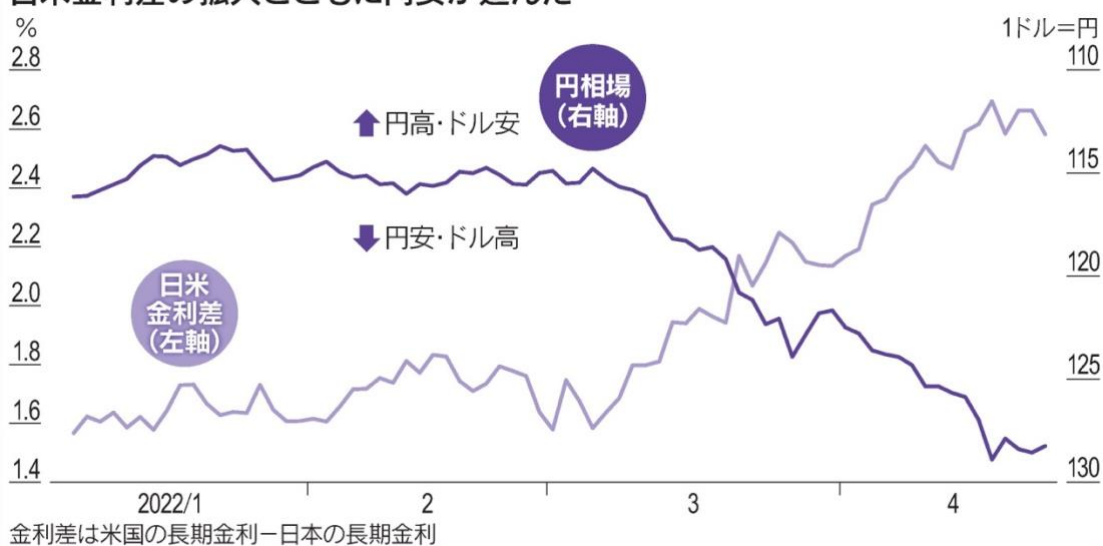
[https://www3.nhk.or.jp/news/special/news\\_seminar/jiji/jiji86/](https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/jiji/jiji86/)

## 背景

### 1. アメリカ：ゼロ金利政策終了（22. 3）

2020年3月 コロナ禍による景気悪化→ゼロ金利政策  
2022年3月 政策終了、利上げ

## 日米金利差の拡大とともに円安が進んだ



<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB196YW0Z10C22A4000000/>

## 2. ロシア・ウクライナ事情によって通貨の信用度下落 (22. 2)

- ① 戦争や紛争などの当事国となると、その国の通貨が“紙くず”となってしまいうリスクが意識され、信用度が落ちて通貨の価値は低くなる
- ② 物価が急上昇するハイパーインフレが起きている国の通貨も同様のリスクがあるため、下落しがち

## 3. 国際収支

輸入額が輸出額を上回る貿易赤字になると、輸出で稼いだ外貨を自国通貨に替える需要よりも、輸入代金を支払うために自国通貨を売って外貨に替える需要の方が大きくなり、自国通貨が下落しやすい

原油や穀物など資源の価格が急上昇した結果、日本は 2021 年度に 2 年ぶりに貿易赤字となった。輸入代金を支払うために円を売る需要が増えており、これが円安につながりかねない。

<引用元><https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB196YW0Z10C22A4000000/>

円だけ?

## ドル・円

130.49 - 130.51 (6日 12:29) **+0.39 (+0.29%)** (単位:円)



表示期間 1日 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 5年

※縦軸は円、横軸は期間を示す

## ドル・人民元

6.6728 - 6.6748 (6日 12:29) **+0.0181 (+0.27%)** (単位:人民元)

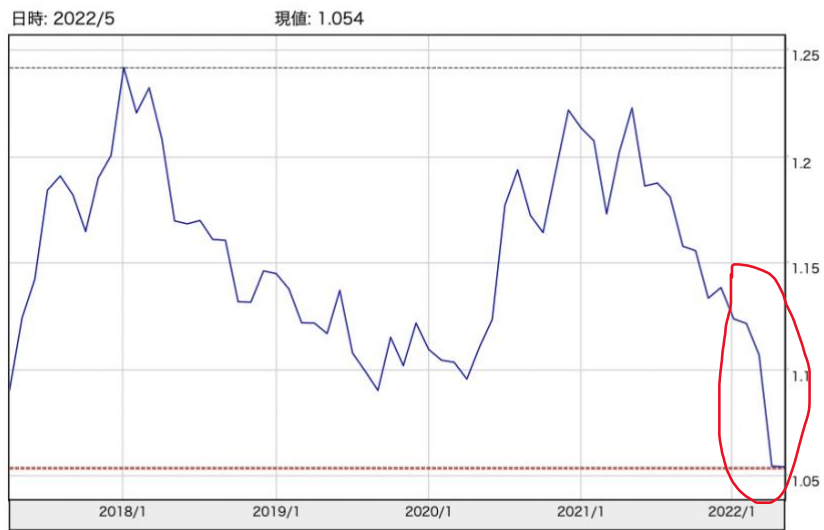


表示期間 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 5年

※縦軸は人民元、横軸は期間を示す

## ユーロ・ドル

1.0529 - 1.0530 (6日 13:12) **-0.0004 (-0.03%)** (単位:ドル)



表示期間 1日 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 5年

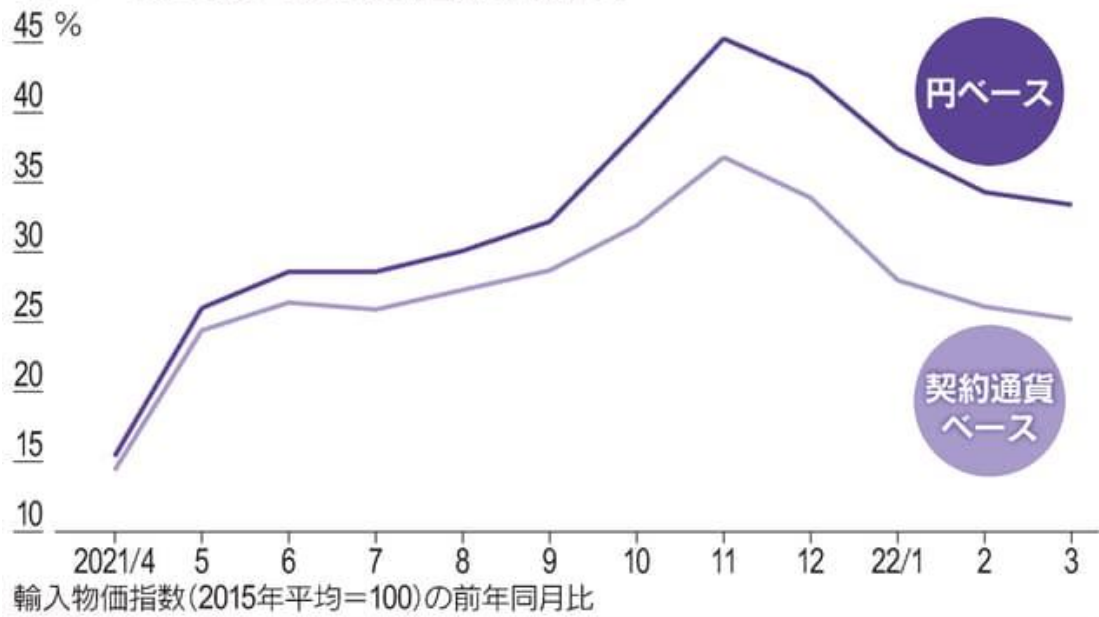
※縦軸はドル、横軸は期間を示す

## 円安のメリット・デメリット

メリット: 輸出拡大

デメリット：国内物価上昇

### 円ベースの輸入物価は上昇が激しい



日銀の黒田東彦総裁も4月18日、「かなり急速な為替の変動で、企業の事業計画の策定に困難をきたす恐れがある」と。

<引用元> <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB209SC0Q2A420C2000000/>

## 経済・物価の見通し

年度	実質GDP	消費者物価指数
2021	2.1% (2.8)	0.1% (0.0)
22	2.9 (3.8)	1.9 (1.1)
23	1.9 (1.1)	1.1 (1.1)
24	1.1	1.1

(注) 前年度比。21年度の消費者物価指数は実績値、その他は政策委員見通しの中央値。カッコ内は前回。消費者物価指数は生鮮食品を除いたもの

NIKKEI

<出典>日本経済新聞、日銀、大規模緩和を維持 物価見通し 1.9%に引き上げ  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB281B60Y2A420C2000000/>

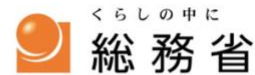


1.9%

今回の上昇は、携帯電話の通信料の押し下げ効果が薄れた影響が大きい。大手各社が21年春に格安プランを導入したため、22年3月は総合指数を1.08ポイント押し下げている。4月は携帯電話の料金下げの影響がなくなり始め、物価上昇につながった。

<出典>日本経済新聞、東京23区の消費者物価1.9%上昇 4月、7年ぶり高い伸び <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA060BA0W2A500C2000000/>

報道資料



MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和4年5月6日

2020年基準 消費者物価指数

東京都区部 2022年(令和4年)4月分 (中旬速報値)

◎ 概況

- (1) 総合指数は2020年を100として101.6  
前年同月比は2.5%の上昇 前月比(季節調整値)は0.4%の上昇
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は101.3  
前年同月比は1.9%の上昇 前月比(季節調整値)は0.5%の上昇
- (3) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は100.3  
前年同月比は0.8%の上昇 前月比(季節調整値)は0.4%の上昇

図1 総合指数の動き

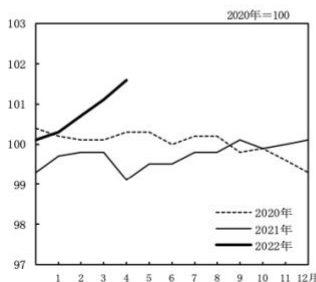


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

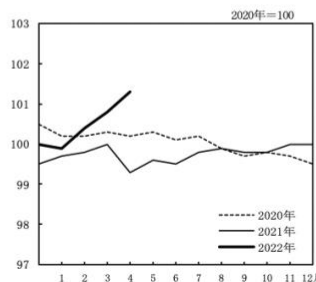
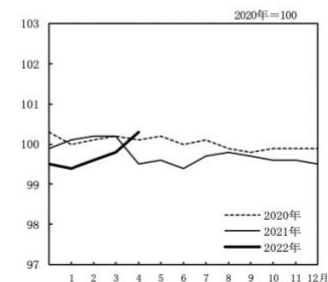


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



<出典>総務省、2020年基準 消費者物価指数 東京都区部 2022年(令和4年)4月分(中旬速報値)

<https://www.stat.go.jp/data/cpi/sokuhou/tsuki/pdf/kubu.pdf>



## 4月の資金供給量、前年比6.6%増 コロナ対応で高水準続く

2022年5月6日 9:17 [有料会員限定]



日銀が6日発表した4月の資金供給量（マネタリーベース、平均残高）は前年同月比6.6%増の687兆4736億円だった。新型コロナウイルス禍に対応するため日銀は大規模な金融緩和を実施しており、資金供給量は高水準での推移が続いている。一方で、伸び率は前の月（7.9%）に比べて縮小した。

平均残高の内訳は日銀の当座預金が同7.4%増の562兆4625億円、紙幣の発行残高が同3.3%増の120兆400億円だった。貨幣（硬貨）の流通高は同1.2%減の4兆9711億円と3カ月連続で減少した。4月末の残高は688兆4030億円だった。

マネタリーベースは、市中に出回るお金（紙幣、硬貨）と金融機関が日銀に預ける当座預金の合計。日銀は消費者物価指数（生鮮食品を除く）の前年比上昇率が安定的に2%を超えるまで、マネタリーベースの拡大を続ける方針を掲げている。

〔日経QUICKニュース（NQN）〕

[https://www.nikkei.com/article/DGXZASFL06HQT\\_W2A500C2000000/](https://www.nikkei.com/article/DGXZASFL06HQT_W2A500C2000000/)